

<タイプ1>

・モデルは、織田信長にしようと思う。
 ・梅棹忠夫さんは、大量の本を読むのは、新しくオリジナリティを生み出すためであるということに驚いた。図解は、ストーリーを構築する能力がないと意味のないものになってしまうと感じた。一つ一つの人物の名言を聞くだけで背筋が伸びるような思いになる。
 ・事業で成功を収めている人は、人生設計がしっかりと決められていることが分かった。久しぶりに先生の図解を見て、改めて見やすくて分かりやすいと感じた。自分も久しぶりに書いてみたくなった。

<タイプ2>

・司馬遼太郎の竜馬と天井の「シミ」の思想を重ね、そこから色々な感情を盛り込む独特な思想感にひかれた。

<タイプ3>

・司馬氏は現在の日本史などに大きな影響を与え、多くの人々に影響を与えたと思う。とても偉大な人だと思った。
 ・ノーベル賞の授賞式がノーベルの命日というのを知った。坂本龍馬について書こうと思った。
 ・司馬遼太郎の作品を読みたいと思った。
 ・自分の身近な人にしようと思っている。

<タイプ4>

・梅棹忠夫さんに興味を持った。著書を読みたいと思った。
 ・司馬さんの本を読んだことがない。興味を持った。梅棹さんの「フロンティア」というものは間違いなく興奮するというのがすごく気になった。

<タイプ5>

・司馬遼太郎の言葉が印象に残った。上司や組織の上層部に疑念を抱く旨の言葉を遺していたが、自分も同じ感情を抱くことがある。自分の価値観、判断基準を確かなものにする為にも司馬遼太郎のように過去を学ぼうと思った。
 ・先生が授業の頭に言っていた、ノーベル賞の由来について少し聞きたい。

<タイプ6>

・就活をしていく上で、人生鳥瞰図を活用していければいいと感じた。
 ・梅棹忠夫の本を見て、何事もすぐにあきらめてはいけなかったと思った。
 ・今日の講義で、梅棹忠夫さんに興味を持った。「梅棹忠夫語る」という本はぜひ読んでみようと思った。
 ・ウォルト・ディズニーと、スポーツ関係の人にしようかと、迷っている。
 ・「人が言わないことを探すために、本を読む」という言葉、非常に心に響いた。
 ・調べたい人物を決めることができた。これから調べるのが楽しみです。
 ・「本ばかり読んでいるとバカになる。それを減らして外で歩いて見るべきだ」という名言が印象に残った。
 ・確か私の誕生日は、ジョン・レノンの命日だと思う。
 ・司馬さんの話を聞き、なぜ彼がそんなに有名になったのか、何を思って書いていたのかを知り、ぜひ本を読んでみようと思った。
 ・イチローかアスリート選手を調べてみようと思う。

<タイプ7>

・偉人によって名言の違いや対立など、いろいろな名言があると思った。祖父の世代や親の世代の生きている人達の言葉や格言を調べてみたいと思った。
 ・徳富蘆花の「人間は書物のみでは悪魔に、労働のみでは獣になる」という言葉を心に残そうと思う。また、梅棹忠夫のフロンティアは間違いなく興奮するという言葉を自分の目標として生きてみたい。エニアグラムは何度も当たっているので、自分に対して思慮深く考えていきたい。
 ・ディズニーの現状維持は後退である、という言葉は、自分も共感できた。
 ・自分も日記などをつけて過去を振り返られるようにできたらいいなと思った。レポートは図解に挑戦してもよいかと思った。
 ・梅棹忠夫のラフな感じの名言に好感が持てた。クスツとくるようなものも多く、著名人なのに親しみを感じた。
 ・自分の性格をよく知ることの大切さ。「旅」にはたった1つしかない。自分自身の中へ行くこと。By:リルケ 自分と向き合う時間を作ることで成長できると思った。
 ・特別講義で寺島学長が「日本近代史を知るなら司馬は読んでるか」と言っていた。読んでみようと思う。パワーポイントが強みになるとは思えなかったけど、企業でぐっと先に進めるのだろうか。人生には主題歌がある。という名言がかっこよすぎて、自分の人生の主題歌は何になるだろうと思った。

<タイプ8>

- ・これからは人工知能の時代ということを知った。それと来週のパワーポイントの図の作り方は楽しんだ。
- ・最後に紹介されたディズニーの言葉は全くその通りだと思った。常に新しいものを作ることが大切だ。
- ・雨で小田急線のダイヤの乱れで遅れてしまった。今回で遅れをとった分、レポートは良いものを作りたい。
- ・杉原千畝という人にとっても興味がある。課題を書こうと思っている。
- ・人物を選んでいきたい。
- ・「色々なものを組み合わせて作るのが知的生産だ」というのはとても心に響くものがあった。
- ・梅棹忠夫さんの言っていることは、他の学者さんや物の書き手なんかは言えないようなことが多いと思う。それを躊躇なく言ってしまうことに感心した。

<タイプ9>

- ・語学やビッグデータの話も聞けて非常に勉強になった。
- ・司馬遼太郎について知ることができた。誰について調べるか、自分の中で決まってきた。
- ・自分と同じ誕生日の偉人と、その日に亡くなった偉人を調べ、どのような名言を残していったのかを知りたいと思った。
- ・先生がこれから学びたいと思っているのは英語と中国語で、これらが話せると全世界へ行けるとおっしゃってましたが、なぜ、英語と中国語なのでしょうか？
- ・遅い、遅くないの問題ではなく、やるかやらないかである。今から、自分のデータ、起こったこと、人の事を、ノートやパソコンにメモしておく、それは後で大きな財産となる。これは確かに共感できると思った。残しておけば、自分が忘れたときに、見直せば、そこに書いてある。
- ・たくさんの方の名言が聞けて良かった。
- ・ブログを10年間やっていることが分かってよかった。
- ・ディズニーの「現状維持は後退である」という言葉が胸に刺さった。現状維持も大切だが、少しでも前へ進まなければと思った。司馬遼太郎の紹介されたことをきっかけに著書を読んでみようと思った。
- ・司馬さんのことを調べたいと少し思ってきた。

<タイプ?>

- ・人生のライフスタイルを理解することは重要だと思った。自分の人生において図解を用いることは自分のビッグデータとして記録できると思い、強く感心した。
- ・自ら進んで身につけていかななくてはいけないのかもしれない。
- ・今日の紹介された人は、まずは、行動を起こしてから全体の日本を見て、言葉を言ってほしかった。
- ・司馬遼太郎の本を読みたいと思った。
- ・ジョン・レノンの「人生とは、他の事に夢中になっているときに人生があるという言葉が印象的だった。
- ・自分のモデルにしたい人物も決まり、少しずつでも調べていきたいと思った。
- ・司馬遼太郎、「以下、無用のことながら」というエッセイ集を読んでいると、優しい眼差しの司馬遼太郎が傍らにいたような不思議な柔らかい感覚があった。
- ・今回の授業は先生の就職活動についての話が印象的だった。
- ・やっぱり図解はすごいと改めて思った。これを機に自分の人生鳥瞰図を書いてみようと思った。
- ・秀吉は人たらしだったと分かった。人生とは、人生以外のことを夢中で考えているときにあるんだよ。このジョン・レノンの言葉はとても難しいと思った。
- ・若いときに流さなかった汗は、老いてから涙になってかえってくる。どんな夢でもかなえる魔法それは続けること。
- ・自分の人生の見取り図を想像し、決して自慢できるようなものでもないが、これから自分の人生を考える上で、必要な事だと思った。
- ・人物を調べることにより、興味と関心が増すと良いと思う。
- ・ビッグデータ時代で、先生のようにブログを書いたら、それが自分の財産になったということで、自分もSNSなどを使ってみようと思った。
- ・司馬遼太郎に興味を持った。モデルの候補の1人として考えようと思う。大阪へ行く機会があれば、司馬遼太郎記念館へ訪問してみたい。
- ・司馬遼太郎の本を読みたい。
- ・ディズニーの言葉の、「現状維持は後退である」という言葉が心に残った。